

「中国・アジア」ダイジェスト

2015.04.27-05.22

※記事は東京発行・最終版

CHINA

4月28日(火) □

■東洋アルミ、技術供与
河南科源電子／電極箔

東洋アルミニウムは、中国・河南科源電子鉛箔と、電解コンデンサー用高純度アルミニウム箔（電極箔）の技術提供サービスに関する合意書を締結した。品質・コストを改善。（13面）

4月29日(水) □

■鴻海、シャープへの出資断念
銀行2000億円資本支援

台湾・鴻海精密工業はシャープとの資本提携を断念する。シャープによる産業革新機構への出資要請や主力取引銀行に対する2000億円規模の資本支援要請を受け、出資断念の方針を固めた。（3面）

■VW、長城汽車と提携検討
出資も選択肢に

独フォルクスワーゲンが、低価格車の開発で中国・長城汽車との提携を検討している。提携の詳細について調査中で長城汽車への出資も選択肢に。独経済誌が伝えた。（時事＝6面）

■アンリツ、成長投資210億円

アンリツは、2018年3月期までの3年間で、210億円の成長投資。通信用計測器が主力の計測事業は、中国のエンジニアリング拠点を拡充。産業機械事業は、米国に製品の組み立て拠点を。（7面）

5月1日(金) □

■A I I B一産業界複雑
不利にならないように…

中国が提唱するアジアインフラ投資銀行(A I I B)をめぐる、産業界は日本企業が不利にならないよう政府内の議論に注目。政府内には経済的得失を考慮した判断が求められる。（深層断面＝16面）

■伊藤忠、電子商取引で提携

中国移動通信など4社
伊藤忠商事は、中信集団、タイのチャ

ヤマハ発動機はパキスタン工場で稼働セレモニーを開いた（右端が柳弘之社長＝30日付）



ロン・ポカパン・グループ、中国移動通信集団、上海市信息投資と上海自由貿易試験区を拠点としたクロスボーダー電子商取引事業での提携で合意。（3面）

5月4日(月) □

■日中韓、金融協力強化を確認

財務相・中銀総裁会議
アジア開発銀行総会に合わせ、日本と中国、韓国は財務相・中央銀行総裁会議を開いた。共同声明では「地域金融協力を強化する」ことに決意を表明。A I I Bへの言及はなかった。（時事＝2面）

5月5日(火) □

■マツダ、4月最高を更新

37.4%増2万196台
マツダは、4月の中国での新車販売が前年同月比37.4%増の2万196台となり、4月として過去最高。1ー4月累計は前年同期比13.1%増の7万8832台で、こちらも過去最高。（時事＝2面）

5月6日(水) □

■テスラ、不振脱出へ

中国販売／3月326台
米テスラ・モーターズは、3月の中国販売は、ナンバープレート登録ベースで

326台と、前月比25%増加した。世界最大の中国自動車市場で販売不振から脱出しつつある。（4面）

5月11日(月) □

■フォード、4月は前年並み

9万6889台
米フォード・モーターは、4月に中国で販売した新車台数は、前年同月とほぼ同じ9万6889台だった。1ー4月の累計販売は前年同期比7%増の39万3714台。「クーガ」などが好調。（時事＝7面）

5月12日(火) □

■日系自動車7社、明暗分かれる

4月／トヨタ・ホンダ・マツダ好調
日系自動車7社の4月の中国新車販売は、トヨタ自動車とホンダとマツダが前年同月実績を上回ったが、日産自動車など4社が前年実績割れ。市場全体では2カ月ぶりの減少。（5面）

5月13日(水) □

■ボルシェ、中国販売46%増

4月／世界販売31%増
独ボルシェは、中国の景気鈍化が目立ち始める中、4月の中国販売は46.3%増の4996台に跳ね上がった。世界販売は前

日系自動車メーカー
の中国新車販売

	4月
日産	95,500(▼19.4)
トヨタ	92,600(7.8)
ホンダ	71,546(11.7)
マツダ	20,196(37.4)
スズキ	17,898(▼23.9)
三菱自	7,116(▼3.0)
富士重	4,321(▼18.2)
単位台、カッコ内は前年同期比増減率%、▼はマイナス	

年同月比31.7%増の2万1469台となった。（時事＝5面）

■セーレン、車用シート材新工場

原系から縫製品まで一貫生産
セーレンは、自動車用シート材で原系から縫製品までの一貫生産体制を構築するため、河北省に新会社「世聯汽車内飾(河北)」を8月めどに設立する。ミシンなどの設備投資に約2億円。（11面）

5月15日(金) □

■中国、製造大国から強国へ

清南二機株／米国で受注重ねる
中国国有企業・清南二機株集団が、米国で受注を重ねている。米フォード・モーターとは「8月目のラインを商談中」、価格、一発勝負を止め、輸出型の強豪メーカーへの転身を選じた。（9面）



インド国際工作機械見本市CIMT2015の関心が高かった中

5月18日(月) □

■中部一武漢線の新設

国際線過300便／中部空港
中部国際空港に就航する旅客便が着実に回復している。17日には中国南方航空が中国・武漢線の新設、国際線旅客便数は週302便と2009年以来、約6年ぶりにの週300便大台を超えた。（18面）

5月19日(火) □

■立花エレクトック、F A技術拠点

深圳・上海／自動化ニーズ増大
立花エレクトックは、深圳と上海にF Aシステムの技術営業拠点を新設する。半導体デバイス事業の2拠点を活用。自動車関連を中心に中国製造業で増大する自動化ニーズに対応する。（11面）

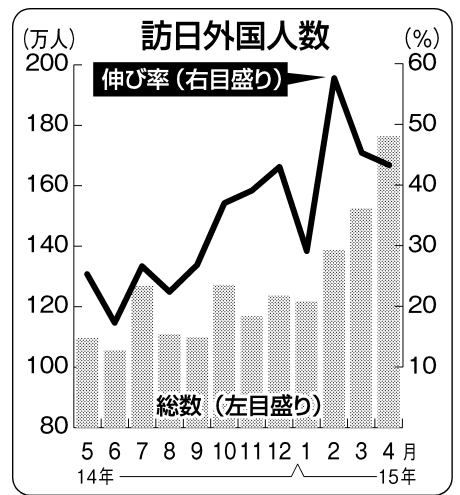
5月21日(木) □

■W T O上級委に上訴

ステンレス継ぎ目なし鋼管／中国課税
政府は、中国による日本とEU産の高性能ステンレス継ぎ目なし鋼管へのアンチダンピング課税措置について世界貿易機関上級委員会に上訴した。日本の主張が一部認められなかったため。（2面）

■訪日外国人、176万人

4月／中国2倍40万人
4月の訪日外国人は、前年同月比43.3%増の176万4700人になった。3カ月連続で過去最高。中国が前年同月比2.1%の40万5800人。2位の台湾は同29%増の33万5100人。（14面）



■パナソニック、中国30%増

サーボモーター／トップ堅持

パナソニックは、中国におけるサーボモーターの販売で2016年3月期の目標を前期比約30%増に。スマートフォン生産の拡大などのむ需要を取り込み、同国でトップシェアの座を堅持する。（6面）

■化粧品「MACHIKO」中国店2倍

エイアンドビーブル

エイアンドビーブルは、化粧品「MACHIKO」の中国での取扱店舗を倍増する。現在はネット販売「ECOHショップ」の直営店300店。今後同ショップの加盟店を含め600店舗に。（15面）

5月22日(金) □

■産口ロボ、23.8%増13万7334台

昨年／中国向け大幅回復

2014年の産業用ロボット出荷は、中国向けの大幅回復などにより前年比23.8%増の13万7334台と過去最高を上回り、4年ぶりに増加に転じた。日本ロボット工業会まとめ。（6面）

■三浦工業、船舶メンテ第2拠点

浙江省／外国船向け増加

三浦工業は、浙江省に船舶事業のメンテナンス拠点を開設した。現地2カ所目。中国の修繕ドックで定期点検・修繕を行う外国船が増加。バラスト水処理装置のメンテナンスも強化。（7面）

■イナック、中国製3DP導入

ロボ・医療関連部品試作

イナックは、中国の国立研究機関が開発した3DPプリンターを名古屋開発センターへ導入する。材料コストが安く高速で、高精度な型や部品をの試作。ロボットや医療関連などを開拓する。（21面）

TELOP

■ヤマハ、電子楽器を増産

新工場棟／蘇州(11日15面)

■GM、中国の新車販売価格下げ

4月販売0.4%減(時事＝14日5面)

■川重、ゴミガス化7機受注

セメントプラント向け(14日7面)

■薬の説明書一中国・英語併記

ズーがソフト(14日10面)

TELOP

■マレーシア・ナジブ首相来日

高速鉄道など意見交換

マレーシアのナジブ首相が日本を訪れる。天皇皇后両陛下との面会に加え、25日に安倍晋三首相と会談。日本が新幹線導入を狙うマレーシア・シンガポール間の高速鉄道などで意見交換。（2面）

■三菱重工、印M&Mと提携

トラクターOEM供給

三菱重工工業は、農業機械事業で印マヒンドラ・マヒンドラ(M&M)と提携する。三菱農機の株式33%を握る。三菱農機はM&Mに対しトラクターのOEM供給や歩行式田植機の技術供与。（3面）

TELOP

■ダイキン、タイで冷媒転換支援

現地空調12社向け(28日9面)

■成田一ダナン便、デیلیー運航

ベトナム航空(28日15面)

■都産技研、タイ経済技術協会連携

中小企業の技術向上(28日26面)

■三菱重工、ベトナムでETC受注

アンテナ・車載器5万台(28日3面)

■サムスン電子、30%営業減益

1ー3月期(時事＝30日2面)

■双日、日本食店の開発・運営

シンガポール(11日3面)

■ジャカルタ都市高速南北線受注

三井物産・東洋エンジなど(1日3面)

■韓国・釜山港の活用を加速

セイノHD(5日8面)

■日通、ベトナムで外販

エコドライブシステム(11日14面)

■L P G容器、タイで販売

八千代工業(12日5面)

■ニプロ、ベトナムの基幹工場稼働

後発医薬品(12日11面)

■ベトナムHDバンクと提携

第一生命(12日2面)

■ミャンマーとUAEに現法

ヤクルト本社(13日3面)

■J C B、インドネシア拡大

国営商業銀行で採用(13日17面)

■三菱日立P S、インドで受注

熱供給発電プラント(15日9面)

■住友倉庫、ハノイに支店

ベトナム北部の物流強化(15日17面)

■インドのIT人材受け入れ

日本企業のマッチング／経産省(16日2面)

■フィリピンで「白物」共同配送

ハイアールアジア／東芝ロジ(18日13面)

■バンガラデシュにメンテ会社

日本空調／建物設備(19日9面)

■アップル提訴に再審

サムスンの特許侵害(時事＝20日3面)

■マレーシアへの進出、総合支援

ユー・ワールド／ハラル認証など(20日18面)

■人工歯根用磁石、韓国1万5000個

愛知製鋼(21日11面)

■東電、タイ発電公社と協力体制

L N G調達(22日3面)

■J R西日本、シンガポール事務所

訪日観光客を獲得(21日13面)

ASIA

4月27日(月) □

■ミャンマーのインフラ開拓

NECネットスI／ヤンゴンに拠点

NECネットスエスアイは、インフラ整備事業でミャンマー市場に本格進出する。首都ヤンゴンに拠点。現地では住友商事などと運輸省航空局向け空港・航空保安インフラ構築や施工管理。（10面）

■岩谷、ミャンマーで工業ガス

ティラワ工業団地／日系向け

岩谷産業は、ミャンマーで工業ガス事業を展開する。ヤンゴン市郊外のティラワ工業団地に2万5000平方メートルの用地を確保。日系などの企業進出に先立ってガス供給体制を整える。（12面）

4月28日(火) □

■中央発條、タイ社に技術援助

自動車用バネ／開発・生産

中央発條は、タイ自動車用バネメーカー・バンコクスプリングと技術援助契約。日系自動車メーカーにも供給するバンコクスプリングにシャシー系バネの開発、生産の技術を提供。（5面）

4月29日(水) □

■タマノイ酢、ハラル対応すし酢

認証取得・タイ委託工場で生産

タマノイ酢は、ハラル対応のすし酢を日本国内で発売する。ハラル認証を取得済みのタイの委託工場で商品を生産、シンガポール法人を通じて日本へ輸出、販売する。（11面）

4月30日(木) □

■ヤマハ発、パキスタンに新工場

2020年40万台／総投資110億円

ヤマハ発動機は、パキスタン・カラチ市に2輪車製造の新工場を稼働。125ccの小型バイクを投入、2015年は年3万台、2020年は同40万台規模を予定。総投資額は110億円を計画する。（5面）

5月1日(金) □

■ワンストップで3週間

ティラワ特区／投資手続き

ミャンマーの経済特区「ティラワSEZ」が、投資手続きを迅速に処理するワンストップサービスを実現した。投資許可と会社登記が他所では半年以上、ティラワSEZでは3週間程度で。（2面）

5月4日(月) □

■ミャンマーで建設コンサル

セット設計事務所

セット設計事務所は、ミャンマーに進出する。ヤンゴンに連絡事務所。総合建設コンサルタントを実施。現地はホテルやコンドミニアム、工場などあらゆる分野で建設ラッシュにある。（1面）

用スプレーガンの生産に乗り出す。価格を抑え現地企業に採用してもらうことにより、同国で明治ブランドを確立する。ミャンマーでも現地生産する。（9面）

5月12日(火) □

■芝浦工大がコンソーシアム

東南アジアで産学連携加速

芝浦工業大学は、国際協力機構、トヨタ自動車、タイ・スラナナエ工科大学など25企業・機関とコンソーシアムを設立する。東南アジアで産学の連携を強化、人材の育成などを加速。（3面）

■日本製鋼所、韓国SMPを買収

低コスト押出機／東南ア開拓

日本製鋼所は、コンバウンド用混練押出機の韓国SMPを買収した。株式の8割を約26億円で取得。SMPが得意とする低コスト・短納期の標準機種は東南アジアで需要が高まっている。（6面）

5月13日(水) □

■三菱ふそうタイに戦略ブランド

大型トラック／耐久・燃費性

三菱ふそうトラック・バスは、タイにアジア・アフリカ向け戦略ブランド「FUSO」の大型トラック「FJ」を投入した。車両総重量25トンのミキサー車で耐久性と燃費性能に優れる。（5面）

■カーナビ「楽ナビ」、国内移管

パイオニア／タイ生産の半分程度

パイオニアは、カーナビの量販ブランド「楽ナビ」の生産をタイから国内に順次切り替える。今秋発売する製品から。楽ナビの販売規模は年35万台。国内移管は半分程度。（5面）

5月14日(木) □

■日韓、経済協力を強化

経団連会長／韓国大統領を表敬

経団連の柳原定征会長は、韓国の朴槿恵大統領を表敬訪問。朴大統領が2トラック戦略を鮮明にし、日本との関係でも、経済分野では協力を強化する意向がある見方を示した。（3面）

■ハーネス製造でラオス進出

大和産業／タイから移管

大和産業は、自動車用サブワイヤハーネスの製造でラオスに進出する。12月に工場を稼働する。タイから手組み工程の一部をラオスに移管。タイは高付加価値品の生産に注力する。（5面）

■タイ新工場、来年稼働

ノリタケ／東南ア砥石供給拠点

ノリタケカンパニーリミテドは、タイで計画中の研削砥石新工場を2016年にも稼働させる。中国工場の稼働遅れなどをを受けて建設時期が延びていた。東南アジアへの砥石供給拠点に。（7面）

5月15日(金) □

■日韓一関係強化、経済界が主導

経済人会議／日中韓FTA支持

日韓経済人会議は、経済界が先頭に立って日韓関係の一層の強化を目指す共同声明を採択し閉幕した。共に新しいビジネスを創出していくほか、T P P・日中韓F T Aを支持すると表明。（3面）